



## 第9回

### 日本銀行旧広島支店の話

以前、島根県松江市へ行く機会があったので日本銀行の旧松江支店によりました。その際に使用していた金庫室扉を見てきました。その扉は日本銀行の旧広島支店と同じ会社の製品でしたので、日本銀行の旧広島支店の金庫室扉のお話をしたいと思います。

現在の日本銀行旧広島支店は被爆建造物の一つとして広島市指定重要文化財として公開されています。

そこでも使用されていたアメリカの『MOSLER』社製の金庫室扉を見る事が出来ます。1層が約90~100mm程ある耐火材や防御材が充填されている部分が3層のタイプを我々は良く見かけるのですが一般の方はあまり見る機会のないレベルの金庫室扉だと思います。

このタイプの製品は扉本体の鉄が剥き出しなので定期的に錆防止の油を塗り続けなければならず見た目的に綺麗なのですが維持に手間が掛かります。

その為、現在の日本でこのレベルの同型製品は規模の大きい金融機関の本店級の貸金庫室の扉として希に製造される位だと思います。

『MOSLER』社は日本銀行旧広島支店の金庫室扉などが原子爆弾による核兵器の攻撃に耐えた事で有名です。

日本では、あまりご存じの方は多くないと思いますが Wikipedia の英語版でも『Bank vault』と検索するとこの事柄が記載されている位です。

日本銀行旧広島支店の金庫室扉の状況が核シェルターなどの開発の参考にされたのかも知れません。

金庫室扉を別の視点から見ると全く違った事が見えてきます。

戦後70年という事もあり色々と考えさせられる機会でした。



■有限会社三上製作所■

特殊鉄扉、特注金庫、特注耐火鉄扉、蔵扉製造販売、創業 69 年

所在地：〒114-0002 東京都北区王子 3 丁目 13 番 4 号

ホームページ：<http://mikami-kinko.co.jp>

お問い合わせは

TEL03-3919-2251